



みささ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から

令和4年9月21日 No.17

文:岡本勇人



三朝町立三朝中学校 学校だより

"クツの命はどこですか"と生徒に問うことがあります。答えは"かかと"です。(諸説あります)

今朝もある生徒に問いかけましたが、"踏んでいません(大事にしています)"と回答がありました。よく見るとクツのかかとを踏まないようにクツの中でつま先立ちして歩いていました。

こんな様子を見ていた他の生徒が一言、"クツに失礼ですよ"と。"なるほど名言"と感じながら、2人の生徒が登校していく姿を眺めました。

①と②の総合得点で順位が決定していました。



「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「映像作家」

◆ 初めて(中学校では)の動画づくりの学習



映像作家 服部 勝孝 氏指導助言の元、映像作品づくり(基礎)に挑戦しています。次回は、ショートムービーを作成します。

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「実験」

◆ 現象には必ず理由がある



「まだ仮説の段階だ。仮説は実証して初めて確かなものになる。」(by 湯川学)とのこと。

今回の"仮説"は、「唾液によってデンプンはあまい糖になる」で、"実証"実験は、①デンプンに唾液を加える。②約36℃の湯につけて5分間あたためる。③5分後そこにベネジクト液を加え、さらに過熱。

すると、赤褐色の沈殿が生じました。これにより、"唾液のはたらきによってデンプンが糖に変化する"ことが分かり、ここで仮説は正しいことが分かりました。

教科書や資料集を見る・インターネットで検索すれば答えが分かることも、このように"実証する"ことで学がより深くなるようです。21世紀を生き抜く中学生(21世紀を生き抜く・働きぬく社会人!?)にとって大切なことです。

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「English」

◆ Our Dream Plan(夢の旅)プレゼン



2年生が英語学習の一環として作成したのもです。班ごとに"今の夢"でまとめていましたが、中に"France"があり、"手作り訪仏活動"で実現可能なものもあるような気がしました。

- ① その国に行ってみたい!と心から思えるプレゼンをした班
- ② プレゼンの仕方そのものが上手かった班

※ 生徒又は同居の家族等が陽性となった場合・PCR検査や抗原検査を受検する(した)場合、その旨を学校にお知らせください。

※ 運動会アンケートへのご協力ありがとうございます。結果は今後の教育活動に参考にさせていただきます。